

# OB会 だより

第135号

2018年7月25日

挑戦シリーズ  
No.35



## 定年後の人生

新しい道に挑戦し、輝いている仲間がたくさんいる

その一人 金井 東望子さん

草花を育て、ご近所に花を飾りながら

花咲く地域づくりを楽しんでいる。

埼玉協同病院に勤務している頃、病院の一角にへびが出たと騒いだことがある。そこは草だらけ。「何か手入れを」と意見をだしたが、そのままだったので自分で草刈りから始めた。

昔から草花が好きだ。きれいに咲いた花、我が家は柿の木とブロック塀で見えにくいので、道路に面した近所の家二ヶ所に鉢を置かせてもらい、見頃の花を届け、終わった頃に回収したり。9～10月は、カーネーション、マーガレットなどを挿し木し翌年春に咲かせる。挿し木で更新させると姿・形が良くなり、近所の人たちと「今年は色合い・花つきがいいね」と楽しみながらつながりを強めています。

(金井東望子さんは、川口診療所・埼玉協同病院・さいわい診療所に検査技師として勤務しました)



## 新入会員紹介



### ◆ 生沼信恵さん

私の定年退職まで頑張ってくれた実家の両親に恩返しのため第2の人生、北海道で暮らすことになりました。パート勤務で薬剤師を続けています。

退職者の会の皆さんとのつながりが心の支えになるかなーと期待しています。

### ◆ 岡本 泉さん

よろしくお願い致します。

### ◆ 野田 邦子さん

4月で60歳になり定年となりました。仕事は今までと何も変わることなく、埼玉協同病院医療情報室で毎日働いています。OB会員となりました。よろしくお願い致します。



## 私の近況

### 千野 久子さん

孫が高校の入学式の帰りに我が家で写した写真です。娘家族が近くに住んでいるので、いいような大変なような毎日です。中学生、小学5年生と3人の孫はいまが食べ盛り、お米は近所の農家から1年分我が家で買い援助しています。美味しいお米なので、娘は助かっているようですが・・・



### 水野 いわ子さん

“自分の足で立って歩ける”ことのありがたさを実感した1ヵ月。

(2月中旬～3月中旬の1ヵ月)庭石につまづいたり、前のめりに倒れて左膝蓋骨骨折、今は筋力アップをはかり歩くことに専念。近くに住む友人たちが花見に誘ってくれて、サクラの花道をグルッと車で回ってくれた。おしゃべりも楽しい。手づくりのご馳走が一層おいしく感じた。相変わらず庭の草花をいじって小さなブーケを作りプレゼントしたり・・・楽しんでます。

## 渋谷 菊男さん

いつもお世話様です。先日の退職者の会総会ありがとうございました。総会での「うたごえ」は初めてでしたが、東久留米うたう会としてもとても楽しい時間を作っていただいたと思っています。総会后朝妻さんから連絡をもらい新座でも歌声をやりたいと声がかかり、5月に第一回を開催しました。「うたは平和を守る力」総会后も元気にうたう会を取り組んでいます。また、お会いしましょう。

## 小野 敏さん

「OB会だより」1月号に、山形文子先生から「テレビ“陸王“を楽しみに見えています。行田の街中、盛り上がっているのかな？ 情報があれば・・・」との記事を読み、お知らせします。

行田は、かつて足袋の生産が全国の8割を占め、私たちが子どものころ足袋を履き生活し、家には可愛い福助足袋の人形がありました。テレビで放映された「陸王」は、行田の小さな足袋工場を舞台に池井戸潤の小説をドラマ化したものです。主な撮影場所は行田市内で、行田協立診療所脇の忍城、水城公園、路上の走行撮影は私の家の前の南大通りでした。多くの市民がエキストラとして参加、私も主演の役所広司、竹内涼真を目の前で見て興奮しました。1シーン撮影に3時間待たされた人の話など盛り上がっていました。3歳の孫は、毎日ビデオを見て興奮しています。「行田紹介」No.2は次号になります。

## 山形 文子さん

- ・しらさぎ会賛助会員 申し込みました。
- ・医師会、診療ともども忙しくしています。まもなく誕生日がきて66歳になるので、今後の計画を練っているところです。

## 小嶋 美智子さん

### **ちひろ美術館・石神井公園ウオーキング**

4月6日強風の中、8名参加で行ってきました。

いわさきちひろ生誕100年、「Life展」～まなざしのゆくえ～が開催中なのです。見なれたいわさきちひろの絵画と展示方法に特徴がありました。展示室に照明を暗くしてあります。(真っ暗)「足元に気をつけてゆっくりお進みください」は手すりもないため、気を使いました。二階通路の展示は、天井から布が液状に下がっていて、「ベビーカーや車いすの方は通行時に布を巻き込まないようにご注意ください」と注意書きが渡されましたが、絵画のほっこりイメージと何だか違うと感じました。石神井公園で昼食、公園ブラブラ、八重桜が満開だったのが救いに、石神井公園駅から帰宅しました。



**山本 康男さん**

## 「おっさん3人」のGWたび

5月2日夜秩父を出発し戻るまでの5日間、いつものおっさん3人でGW旅にでかけました。

3日：京都・天橋立をスタートに、強い風に吹かれての鳥取砂丘、世界屈指のラジュウム温泉「三朝温泉」を楽しんで、ここに2連泊。4日：三朝温泉・花湯まつりを見学～三徳山三佛寺へ、日本一危険な国宝と言われる「投入堂」は900mを2時間かけての参拝、岩をよじのぼり、木の幹にしがみついたのぼり、やっと目にした投入堂の美しさは感動のひとつとか（私は体調を考え下で待ち）～島根県・松江城へ。5日：京都・伏見稻荷～平安神宮～知恩院～八坂神社・晴明神社等々京都市内めぐり、清水寺はさすがに人だらけ。車を止める所もなく撤退。

6日：朝一番で清水寺へ、50年に一度と言われる本堂の全面修復の最中。一部は参拝・見学もできますが、「平成の大修理」が完成する2021年が楽しみです。帰路、諏訪市にある国の重要文化財「片倉館」の千人風呂を楽しんで秩父へ。

費用はすべて込みで45,000円。安い旅ならご相談ください。



八坂神社



松江城

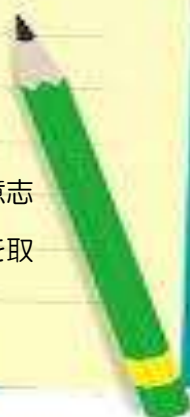


## しらさぎ会 賛助会員のご協力 ありがとうございました



前号でお願いしました“しらさぎ会賛助会員”には12名の仲間  
間に加入いただき、これまでの会員を含め20名を超える  
OB会員が賛助会員となりました。また、募金のご協力  
などたくさんのご援助ありがとうございました。

肥田舜太郎先生が生涯をかけ「核兵器廃絶」を訴え続けた意志  
を受け継ぎ、私たちも被爆者国際署名をはじめとした活動を取  
り組んでいきましょう。 OB会幹事会



## 民医連退職者の会全国連絡会

### 第14回定期総会

～安倍9条改憲にストップを～

全国25都道府県の会から109名の参加で行われた第14回総会は、初めて東京（お茶の水）を会場に開催されました。

今回の特別企画は弁護士の八法亭みややっこさんによる憲法落語「日本を守れ！それは憲法9条を守ること」90分間はあっという間、笑いの中にも楽しい学習になりました。討論では一人ぼっちの退職者をつくらない・仲間づくり、楽しい会づくりの課題、財政問題、次世代とのつながりなど共通した課題を熱心に討議しました。全国の仲間からは、いろいろ工夫をしながら活動している様子が熱く語られ、それぞれの県の様子などもよくわかり参考にしたいと思います。たくさんの学びと貴重な交流、持ちきれないほどのおみやげです。



#### 楽しい活動ができればいいなあ・・・

鈴木 智子

軽い気持ちで総会に参加しましたが、年配の方々が多く、とうとう私も仲間入りしたんだなあ実感させられました。活動方針や各県連の活動を聞きながら、あらためて退職者の会の魅力は？と考えるとともに、働きながら30年、40年、経験してきた生き方を、それぞれの暮らしの中で生かしている活動ができる空間なんだなあと感じました。埼玉は一つの法人なので一緒に働いた仲間があちこちで暮らしています。現役中はあまり交流ができなかった友や、元管理職の肩書を抜きに仲間として交流できるのもOB会の魅力ではないかと確認できました。「忙しい現役から解放されたばかりだからしばらくは遠慮するわ」と思っている仲間や、「私はそんな偉い立場の者でないからご縁がないわ」と思っている友へも輪が広がるように、楽しい活動ができればいいなあと思いました。

#### 初めての参加です

石丸 乾二

民医連退職者の会全国連絡会の総会に行ってきました。行ってみなければわからないことだらけで、埼玉の苦勞はまだ大変じゃない方だと感じました。それぞれの県連の事業所の発展との関



係も想像され、興味深いものもあります。

「八方亭みやっこ」師匠の憲法落語も時間制限なしで話してもらったら・・・と思いました。終了後の『ミニオプショナル』は東京スカイツリーに行きました。上から見ると、墨田区に『新卒』で働いていたので、なつかしい施設も見え、清澄庭園、向島百花園にはとうとう行かなかったな～と・・・ 昔を思いました。

## 秩父ぶらり旅

### 高橋昭雄先生に お会いしてきました

伊藤 英子

梅雨の晴れ間の6月7日～8日、秩父へのぶらり旅に行ってきました。テーマは秩父事件・秩父生協病院見学です。浦和、川口方面組は10人乗りワゴン車で、西部方面は我が家の車、計14名の参加でした。集合場所は椋神社。そこで秩父事件について説明して下さるのは元市議員の新井健二郎さん（深田澄子さんのお父さん）、さっそく記念碑の前で1時間ほど碑文の解説や、地図をみでの困民党の行動経路や逃走経路の説明をしていただきました。次に井上传蔵（中心人物の一人）邸を復元した秩父事件資料館で映画草の乱撮影時のエピソードを交えてのお話、夕食時には新井さんのシベリア抑留当時のお話を伺いました。93才とは思えぬお元気で、足元もしっかりし、昔のいろんなことをよく記憶され、どのお話も興味深いことばかりでひきこまれました。



椋神社で新井さんから説明を聞きました



翌日は天空のポピー園へ。途中、ふれあい牧場へ寄ったり、ちよっと盛りを過ぎた一面のポピーを眺めたり、秩父路をぐるぐるドライブ。秩父生協病院では山田院長の案内で院内見学。たまたま高橋昭雄先生が入院されており、皆でお見舞いにおしかけました。先生はお元気で、とても喜んで下さい

ました。先生を囲んで記念撮影をして楽しい秩父路の旅を終わりました。

# 加速する社会保障解体への道

2018年医療・介護報酬改定 No.1



猪俣 浩

「最新鋭のロボット装置を使ったロボット支援手術で一気に対象疾患が拡大するなど、2018年度の診療報酬改定には一見華々しさがうかがえる。しかし、医療費削減の重圧は強い。矢面に立つ病院は、のんきに笑ってなどられない。」（週刊ダイヤモンド編集部）と経済誌が指摘するように、骨太方針の社会保障削減がいよいよ来るところまで来たという印象である。

ロボットだ、オンライン診療だの、地域包括ケアで在宅診療を重視すると耳触りのいいことをいっているが、診療報酬は実質マイナス改定となっている。焦点の7：1病床の基準をより細分化、重症度や医療・看護の必要度に応じて3段階にするなど厳格化してきている。埼玉協同病院に限らず大病院では7：1病床の維持が死活問題で厳しい基準に該当する患者の取り合いの様を呈しているのだ。厚労省のすすめる国の医療費削減の本丸、急性期病床の削減がいよいよ本格化したとみるべきだろう。

実際、200床程度の病床でも10：1病床に転換すると年間1億5000万円の減収なるという、今まで遅々として進まなかった転換を一気にすすめてしまおうという魂胆が透ける。悪評だった10：1病床の点数を段階化して傾斜をつけることで、より転換しやすくするのがねらいだ。「病床再編」などときれいな表現だが、実質は地域の急性期病床の削減で今後医療圏域ごとの具体化が診療報酬改定の効果として進行していこう。

今後の焦点としては、後期高齢者医療の2割負担と要介護1、2を含めた軽度者の介護保険外しである。団塊の世代が75歳となる2025年までになんとかしないと財政が破綻すると脅しをかけて、乗り切ろうという魂胆である。私たちとしては、「そう簡単にはいかんぞ」というところを見せていかなくては・・・（次号では介護問題を予定しています。）

## 初めての広島

### 肥田先生と対面してきました

小嶋 美智子



思いがけなく娘一家に誘われて初めて広島に行ってきました。原爆ドーム前では被団協の方が署名活動をしていて署名もしてきました。原爆投下の目標になったと言われた二股に分れた川にかかる相生橋を渡り平和記念公園へ、原爆の子の像の回りは千羽鶴を飾る柵がいっぱい。この千羽鶴、風雨にさらされた後、一羽一羽広げて加工され一筆箋に変身していたことに感激（資料館売店に売っています）

テレビでよく見る死没者慰霊碑の長い祈りの列へ加わり、続いて国立広島原爆死没者平和祈念館へ、追悼空間スロープは時計と逆回りに下っていくことにより、あの時へと時間がさかのぼって死没者追悼空間へ、壁面には死没者数、約14万人と同数のタイルを用いて表現され、その下には被爆当時の広島市の町名を表示していました。この空間は追悼と平和を考える場所であると。遺影コーナーに行き、原爆死没者検索装置で肥田舜太郎先生を検索して、なつかしく優しい笑顔と対面してきました。体験記閲覧室では13歳で被爆した少女の体験記を、孫(12歳)と娘が20分視聴しました。肥田先生関連の資料は10冊との事。

広島平和記念資料館では、導入展示で足元に被爆前の広島を映し出し原爆投下によって一瞬に広がりゆく原爆の脅威、映像だけでも苦しくなり周りを見て驚きました。欧米系外国人ばかり、ため息が広がっていました。展示品は心動かされるものばかりで疲れて座り込んでしまいました。

この時、松山刑務所からの脱走受刑者が広島市で逮捕された日でした。前日尾道から見た向島はあまりにも近くて「泳げそうね」と言っていたのが現実となっていました。2泊3日の広島旅、雑誌「るるぶ」とレンタカーで好きな所に行く面白い旅でした。

ホームページ ご覧ください

埼玉民医連退職者の会

検索

## 紹介します



## 世界一のプロゲーマー

# 梅原 大吾さん

富田 孝博

梅原恭子さんの長男「梅原大悟」氏の話なので、私から彼を紹介します。日本初のプロ格闘ゲームプレイヤー「梅原大悟」、通称「ウメハラ」で知られ、世界屈指の格闘ゲーマーです。15歳で日本一に、17歳で世界一になり、ギネス世界記録に認定されています。この世界で梅原さんを知らない人はいない存在で、各地で公演・多数の本の出版など活躍しています。日本でも最近Eスポーツとして普及し始めました。

今年3月、NHK番組「プロフェッショナル仕事の流儀」、時代が生み出した新しい仕事のプロたちの拡大スペシャル版に出演。我々高齢者には少し遠い世界ですが、この番組に出演とは素晴らしいことだと驚きました。

ある日恭子さんから「あのね、私たちNHKに出るかも知れないから見て」とメールが届きました。「何で梅原夫婦が!!」と思いましたが、息子さんの事だなと直感しました。NHK収録時の恭子流の撮影裏話をどうぞ。



## ご覧になった方、いらっしゃいますか？

梅原 恭子

NHKのしかもゴールデンタイムに出演した夫婦の物語

たかが数分と言うなかれ、意味があったかどうかは不明の痛い出費を伴う出演となった。

今年3月中旬、いつもは午後10時過ぎの番組「プロフェッショナル」が春の特別番組として午後7時半から放映された。息子が始めた仕事特集の中の一場面として出演と相成った。

息子の仕事はというと、申し訳ないが関心のあるかたは、「梅原大悟」で検索していただければ。何回か取材依頼があり、親も少しは協力するかと了承したが、夫がまず言ったのは「おれはどうすればいいんだ?」「NHKの人が質問することに答えていればいいんじゃないの?」と私。夫の返答は思いもかけないものであった。「何着ればいいのかってことだよ」「いつも通り・・・」と答えつつ改めて夫をながめると、10年以上も前に買ったスヌーピーの顔がついたトレーナー。元の布地の色はすでに定かではなく首回り、裾と伸びきって本人の体系にこれ以上ない程に馴染んではいるものの。そういえば、ここ数年で購入したのは膝がすり切れ、つぎあても破れたので買った作業ズボンと、もし外出中に倒れ救急車の世話になり服を脱がされた時、ゴムの伸びきったパンツがスルリと脱げるのは格好悪いと思い買ったデカパン数枚か・・・。まさか背広姿というわけにもいかず、梅原家御用達のコモディイダへ。黒のチョッキ購入。これなら上品に見えると夫婦とも満足して取材の日を迎えた。



無事終了してヤレヤレと思っていたら、再取材させてくださいとの連絡。「同じものは着られないよ」と夫。もう一軒の御用達「しまむら」へ。今度は熱意もイマイチでチョッキの半額のシャツ一枚購入。取材を終え、さらにもう一回と言われたら御用達の店はもうないと断るかと言っていたが、それはさすがになかった。

放映後、友人の一人から「違う洋服で写っていたけど2回にわたって取材受けたの?」と。苦労は、みている人は見ているんだねと感心。私はというと、夫が取材対応のメインと思いスヌーピーのトレーナーより着用年数少し短めの衣類で登場となった。数分の放映の陰には数千円の出費があったという事をただお伝えしたかっただけの話である。

もうひとつ、テレビを見た友人何人かからはメールや電話があった。

「普段のそのままですわね」と。「お互い5~6才老けて見えたね。テレビというのは老けて見えるもんだね」と二人で仲良く話していたというのに・・・。

テレビ出演で良かったこと? 一つもない。



## 事業所訪問

# あさか虹の歯科

訪問者： 朝妻 幸平  
田中 見代子  
西村 米子

あさか台駅から歩いて5分ほどのところにある「あさか虹の歯科」を訪問しました。玄関に虹のマークのついた歯科診療所です。事務長の松浦佳美さんにお話を伺いました。

あさか虹の歯科は1999年10月オープンし、来年は20周年をむかえます。

開設当初、歯科医師1名、衛生士2名でスタート、当時、大井協同診療所地区の組織担当であった朝妻さんが開設当時のことを話してくれました。朝霞地区は、組合員は少なかったが、全県の組合員、職員の大きな支援で組合員をどんどん増やし、開設にこぎつけたそうです。あさか台駅の近くのアパートの1室が建設準備の事務所で、地図を貼り、グラフをつくり、地域訪問を必死でやったと、田中見代子さんが語ってくれました。

今では、歯科医師3名、歯科技工士1名、衛生士7名で、患者数は一日60名~70名に発展しています。歯科医院の数はコンビニよりも多いといわれている昨今、虹の歯科で特に力を入れている事を、事務長に伺いました。まず、毎日訪問診療を行って、来院困難な患者さんに喜ばれている事、歯周病予防、歯ブラシ指導など衛生士が中心になって、保育園、介護施設などに出かけている事、院内技工士がいるので素早い対応ができる事、認知症の方や生活困難で他の歯科で治療できない方の最後の砦になる事、そして医療生協ならではの歯科



を組合員さんと一緒につくっていきたいと、又、若い職員が多い中、職員教育にも力を入れ、組合員と職員がなんでも話し合えるようにと「虹カフェ」を開催、組合員、職員と一緒に地域に出て行動もして、医療生協らしい歯科を目指したいと松浦事務長は語ってくれました。あさか虹の歯科診療所は、口からの健康づくりに頼りになる歯科診療所として、元気に奮闘しています。



OB会だよりと同封の「会員通信」に、今号も貴重な感想をたくさんいただきました。ご紹介しながら、次号にはさらに多くのご意見をお願いします。みんなで楽しいOB会、「OB会だより」を作っていきます。



- \*OB会だよりと一緒に届いた「バースディカード」に心がほっこり。ありがとうございました。
- \*花見に行けなかったけれど、OB会だよりで2ページにわたるカラーの素敵な花々の写真、見に行っているような気持ちになりました。皆さん、お上手ですね。
- \*しらさぎ会賛助会員加入のよびかけは大賛成です。私も浦診の頃に入りました。何もできないけれど、新聞を読むこと、多少のカンパをその時々をしています。年々被爆者も、会員数も減、会の存続も危ぶまれていたり、現に3つの県では会が消滅と聞きました。この数年間の被団協の資料パンフができたようです(200円)。会で購入し会員に紹介するのもいいのでは・・・
- \*今おもしろい本、分野を問わず「紹介コーナー」などあるといいなあ・・・

私は今回体調が悪く動けなかったとき、和田初子さんの本を読みあさりました。彼女は昔ハーブの活動をご一緒したことがありました。

- \*OB会だより「紙上のお花見」良かったです。私の写真も応募したかったです。来年はぜひ!
- \*表紙“西東こういちさん”懐かしく拝見しました。

たくさんの桜の写真を見て、お花見気分になりました。日立の桜も有名です。来年載せてもらおうかな、と思います。多くの方々が登場、多彩な話題で読み応え十分でした。川診の内山先生に久しぶりにお会いしたいと思いました。

## 元気に参加しました

暑い中でしたが、13,500人分の我々です。  
 集合時間に集まった人はこれだけ?  
 (時間には集まろうね)  
 終了後は恒例のお楽しみ昼食会でした。



気軽に一枚  
私の作品



京都・清水の舞台もただいま改修中 山本康男



古代蓮の里 岡村和夫



浦和駅に“ねぶた”出現 小川祥江



嵐山町にラベンダー園誕生「千年の苑」 小野敏



あとがき

テレビの「スーパー猛暑」のことばに思わず笑ってしまいますが、連日のこの暑さ、皆さんお元気ですか。私は地域のニュースづくりで、健康な 102 歳の方にインタビューしました。秘訣は、身体を動かすこと、好き嫌いせず食べること、おしゃべりし、おもしろいことをやること、孫やひ孫をかわいく思い幸せな気持ちで生きること、と話されました。あらためて自分の生活、まわりをみまわしました。気をつけながらのり切っていきましょう。シリーズ「民医連・医療生協と私」は、今号お休みしますが、次号より再開、誰もが持っている大切な歴史、伝えたい想いをどうぞお寄せください。(K)

埼玉民医連退職者の会 〒333-1111 川口市木曾呂 1347 老健みぬま内